



2013年5月21日

エア・ウォーター株式会社
(証券コード 4088)
東証・大証各一部・札証

**新中期経営計画『NEXT-2020 Ver.2』を策定
(2013年度～2015年度)**

——「成長」と「改革」への挑戦——

エア・ウォーター株式会社(大阪府中央区、代表取締役会長・CEO:青木弘)は、2013年度を初年度とする3カ年の中期経営計画『NEXT-2020 Ver.2』を策定いたしました。

この『NEXT-2020 Ver.2』は、2010年度を初年度に20年までの10年間で売上1兆円を目指す長期成長ビジョン「2020年度1兆円企業ビジョン」の第二ステップに位置づけられるもので、前中期経営計画『NEXT-2020 Ver.1』の後継計画となります。

前中期経営計画『NEXT-2020 Ver.1』の3カ年(2010年度～2012年度)において、当社グループは売上高で27%、経常利益で21%、当期純利益では32%と業績を大きく伸ばし、当初の計画目標を超えた成長を遂げることができました。

また、株主資本利益率(ROE)も10%台を維持するなど、財務の健全性を保ちつつ、バランスのとれた成長を実現しました。

新中期経営計画『NEXT-2020 Ver.2』では、前中期経営計画の成果を踏まえながら、『「成長」と「改革」への挑戦』という新たなコンセプトのもと、「2020年度1兆円企業ビジョン」の実現に向けて「全天候型経営」と「ねずみの集団経営」をさらに強力に進めるための具体的戦略を各事業分野で実行してまいります。

■新中期経営計画「NEXT-2020Ver.2」の経営目標(単位:億円)

年度	2013年度	2014年度	2015年度
売上高	6,000	6,500	7,000
経常利益	360	390	420
当期純利益	190	205	230

<経営指標>

経常利益率	6%以上	自己資本比率	40%
ROE	10%以上	ネットD/Eレシオ	0.75倍以下

1. 新中期経営計画「NEXT-2020 Ver. 2」の基本方針

新中期経営計画「NEXT-2020 Ver.2」のキーワードを「『成長』と『改革』への挑戦」とし、次のような基本方針と主要施策を策定しました。

- (基本方針1) シナジー追求による総合力の発揮・成長、進化の原動力
～オール・エア・ウォーターの商材でお客様との関係を広げ、深める。
- (基本方針2) 人に関わる事業の拡大・成長分野への挑戦
～医療、福祉介護、農業、水など、人や暮らしに関わる事業分野を積極的に展開する。
- (基本方針3) 構造改革の加速・基盤事業の再構築
～産業、ケミカル事業の構造改革でスリムで強靱な体質を実現、新事業の創出に努める。

2. 新中期経営計画「NEXT-2020 Ver. 2」の実行施策

基本方針に基づいた実行施策として大きく3つを定めました。
各施策の内容は次の通りです。

1) 中期経営計画「Ver.2」における成長のドライバー

- ①医療関連事業：『病院向け総合事業で、質・量ともにNo.1企業に』
- ②農業・食品関連事業：『革新的ビジネスモデルを開発、会社成長の柱に育成』
- ③エネルギー関連事業：『新商品開発と徹底した地域密着戦略の推進により成長軌道へ』

2) 構造改革、次の中期経営計画「Ver.3」に向けた体質強化

- ①産業ガス関連事業：『構造改革を加速、アジアに本格進出』
- ②ケミカル関連事業：『構造改革を加速、新たな領域に向かって核となる事業を創出』

3) 「Ver.3」への成長ドライバーとなる育成

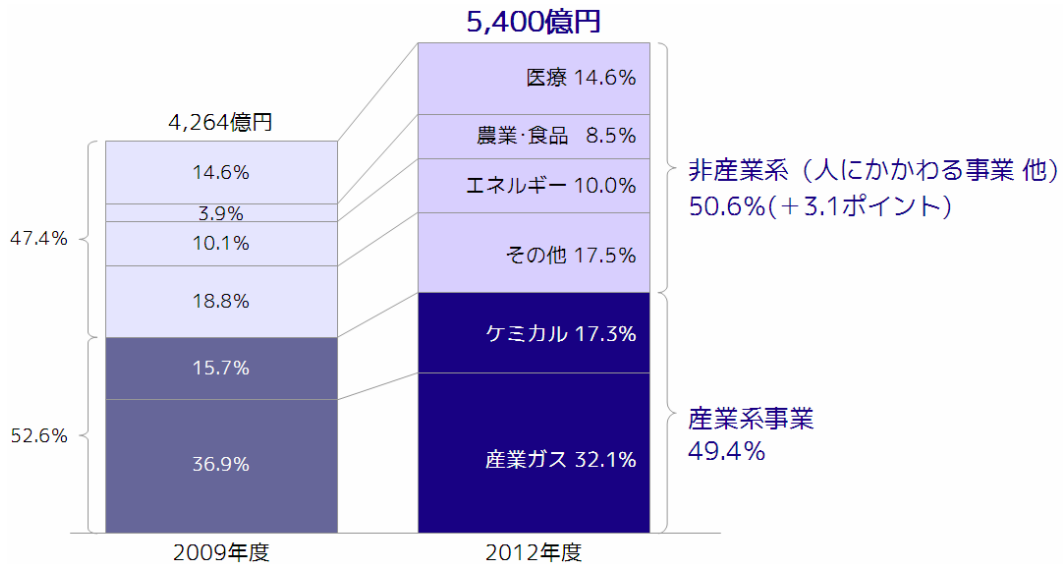
- ①海外プロジェクト：『産業ガス事業を核に、多角的な事業展開をめざす』
- ②発電事業：『持てる経営資源を生かした発電事業の推進』
- ③新技術：『事業に直結した研究開発で、1兆円企業実現に向けた成長ドライバーを生み出す』

3. 事業ポートフォリオ戦略について

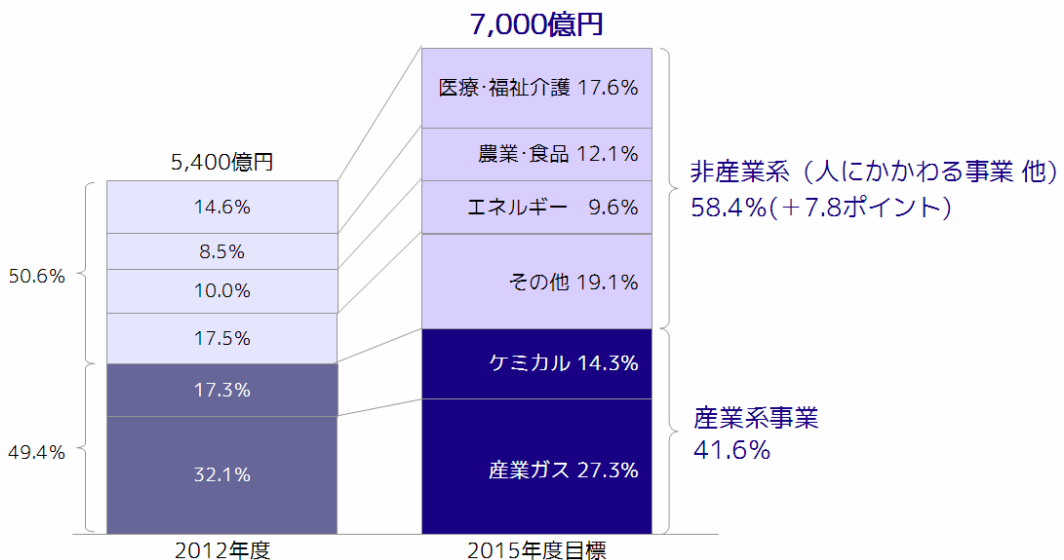
『NEXT-2020 Ver.1』の3カ年（2010年度－2012年度）における全社売上構成比率の変化を見ると、計画スタート時には「産業系ビジネス」が過半数を占めていたものが、3年後には医療・農業・食品などの「非産業系ビジネス（人にかかわる事業）」が伸長したことで比率が逆転しました。

新中期経営計画『NEXT-2020 Ver.2』では、前項に挙げた各事業分野の施策を確実に進めることにより、最終年度2015年度には各事業が全て拡大しつつ「非産業系ビジネス」の構成が全体の約60%を占める事業ポートフォリオに変えていくことで「全天候型経営」をさらに強化してまいります。

<「Ver.1」売上高構成の変化（2009年度→2012年度実績）>



<「Ver.2」売上高構成の変化（2012年度→2015年度目標）>



4. 設備計画

3カ年投資合計	設備投資	M&A
1,650億円	1,050億円	600億円

設備投資

- 大型オンサイトや炭酸ガス工場など高効率・最新鋭化増強投資を継続
- 新規分野である発電関連、農業関連へ積極的に投資

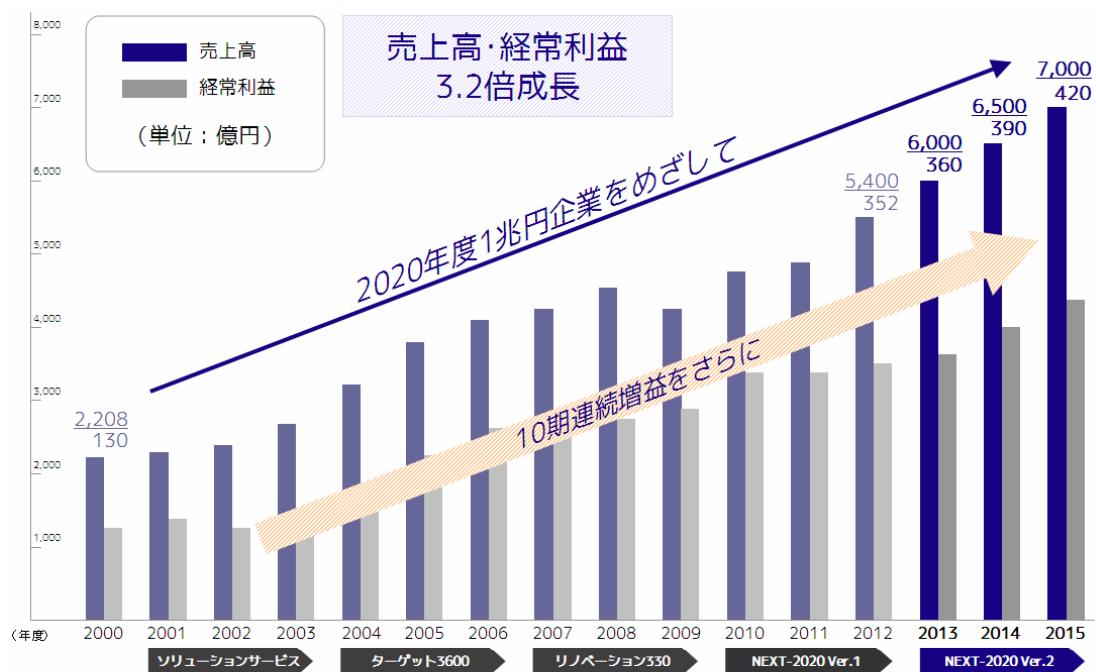
M&A投資

- 新規分野を重点に、海外事業も視野に入れつつ、全方位に展開

5. 1兆円企業をめざして

『NEXT-2020 Ver.2』の最終年度となる2015年度の業績目標は、売上高7,000億円、経常利益420億円です。この数値は、2000年のエア・ウォーター発足時から見れば、15年間で約3.2倍の成長を遂げることになります。

「1兆円企業ビジョン」の実現に向けて、当社グループはこれまで順調な成長を遂げてきています。今後もこの勢いを持続・強化し、大いなる目標の達成をめざしてまいります。



以上

—— 【本件に関するお問合せ先】 ——

◇ エア・ウォーター株式会社 広報・IR室

〒542-0081 大阪市中央区南船場2丁目12番8号

TEL. 06-6252-3966 / FAX. 06-6252-3965